

●資金需給

単位：億円	2019年9月19日		2019年9月20日		2019年9月24日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	▲ 1,100		▲ 700			1,000
財政	▲ 9,400		124,900			▲ 4,000
資金過不足	▲ 10,500		124,200			▲ 3,000
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						▲ 500
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入						
CP等買入		▲ 400		▲ 800		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援			800	▲ 800		
社債等買入				▲ 1,100	1,300	
E T F 買入						
国債補完供給	▲ 200	300		200		
当預増減	▲ 10,800		122,500			▲ 2,200
当座預金残高	3,973,400		4,095,900			4,093,700
準備預金残高	3,451,800					
積み終了先	3,436,000				9月20日以降の残り所要積立額	
超過準備	3,427,400				積数	38,900
非準備預金先	521,600				1日平均	1,500
積み期間(9/16~10/15)の所要準備額						3,081,200
準備預金進捗率	実績	98.74%	日数	13.33%		

●2019年9月19日の市場動向

<インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、邦銀・証券を中心に▲0.080~▲0.040%の出合いが中心となった。立ち上がりは▲0.070~▲0.040%と昨日横ばい圏のレンジで推移した。出合い一巡後は▲0.080~▲0.070%程度で調整が見られた。ターム物に関しては目立った出合いが見られなかった。本日の金融政策決定会合は現状維持となったものの、次回の決定会合で改めて物価・経済動向を点検する旨が示された。

<レポ市場>

GC T/N(9/20-9/24)は、▲0.080~▲0.070%程度での出合い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では2Y402~403、5Y136~140、10Y335~355、30Y59~63、40Y9~12等にビッドの出入りが多く見られた。

<短国市場>

現先レート(T/N)は、小幅低下した。アウトライト市場では、店頭での買いが入ったこともあってか3M物が▲0.150~▲0.1425%で出合った。また、日銀の金融政策決定会合を受けての思惑買いからか、6M物が▲0.293~▲0.280%、1Y物が▲0.285~▲0.265%で出合った。

<CP市場>

現先レートは低位横ばい圏で推移した。CP発行市場は、小売・石油業態等からまとまった発行が見られたが、償還総額2,400億円弱に対し、発行総額1,200億円にとどまり、前日に引き続き償還超であった。発行レートは概ね横ばい圏での決着となった。

●短期金融市場関連指標

2019/9/19	無担(速報)			有担(速報)			短国 売買参考統計値	東京 レポレート 平均値	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	最低	最高	平均	最低	最高	平均			直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)	為替(17時)
O/N	▲ 0.080	0.001	▲ 0.065				-	▲ 0.067	▲ 0.230	▲ 0.044	22,044.45	83.74	108.43-45	108.04-06
T/N			▲ 0.015				-	▲ 0.080						
S/N							-	-						
1W	▲ 0.035	0.230	▲ 0.025				-	▲ 0.084						
2W			0.030				-	▲ 0.106						
3W							-	▲ 0.108						
1M			▲ 0.040				-	▲ 0.111						
3M							▲ 0.150	▲ 0.131						
6M							▲ 0.293	▲ 0.162						
1Y							▲ 0.285	▲ 0.170						
									日付	9/11	9/12	9/13	9/17	9/18
									日銀当預残	3,973,600	3,955,900	3,959,900	3,974,500	3,984,200
									準備預金残	3,465,400	3,437,200	3,432,300	3,488,600	3,483,500
									マネタリーベース	5,092,100	5,075,000	5,079,100	5,092,600	5,102,000
									無担O/N加重平均	▲0.055%	▲0.043%	▲0.042%	▲0.065%	▲0.065%
									コール市場残高	108,693	106,345	98,222	113,706	120,997
									うち無担	86,514	86,329	76,364	90,655	97,544
									うちO/N	54,709	54,604	47,789	60,560	66,079
									うち有担	22,179	20,016	21,858	23,051	23,453

●入札結果

名称	回号	表面利率	発行予定額	発行日	償還日	応募額(億円)	募入額(億円)	募入最低額	募入最高利回	案分率	募入平均価格	募入平均利回	第1非価格競争入札(億円)
本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。													

●オペ結果

種類	オファー額(億円/百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応札総額(億円/百万ドル)	落札総額(億円/百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均着札レート・利回較差・価格較差	按分比率
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)		2019/9/19	2019/9/20	▲ 0.350	143	143		▲ 0.350	▲ 0.350	
国債補完供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)		2019/9/19	2019/9/20	▲ 0.350	0	0				

●2019年9月20日の予定

*4-6月期の資金循環統計速報	*国庫短期証券(859回)入札
*8月の全国消費者物価指数(CPI)(市場予想:前年同月比(除く生鮮)+0.5%)	(3ヶ月、42,700億円、9/24発行)

●日銀金融政策決定会合・結果

●現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。
(1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成7反対2)
短期金利:日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
長期金利:10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。その際、金利は、経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうるものとし(金利が急速に上昇する場合には、迅速かつ適切に国債買入れを実施する)、買入れ額については、保有残高の増加額年間約80兆円をめどとしつつ、弾力的な買入れを実施する。
(2)資産買入れ方針(全員一致)(長期国債以外の資産の買入れについて)
①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。その際、資産価格のプレミアムへの働きかけを適切に行う観点から、市場の状況に応じて、買入れ額は上下に変動しうるものとする。
②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入